

11. 現在までの達成度

下欄には、交付申請書に記載した「研究の目的」の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。
 <区分>①当初の計画以上に進展している。 ②おおむね順調に進展している。 ③やや遅れている。 ④遅れている。

(区分) ②おおむね順調に進展している。

(理由) 交付申請書の研究の目的として①プロサポシンノックアウトマウスを用いた CoQ10 結合蛋白質の生理的意義の解明と②プロサポシン遺伝子改変培養細胞を用いた CoQ10 結合蛋白質の生理機能の解明の 2 点を記載したが、いずれもほぼ計画通りに解析が進捗している。

12. 今後の研究の推進方策

本研究課題の今後の推進方策について簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

今後の予定として、応募書類調書に記載したごとく、ヒト肝癌由来HepG2 に加え、ヒト単球由来THP1等のプロサポシンのノックダウン株あるいはプロサポシンを高発現させた細胞株を作製する。さらに、サポシンB に生理作用があることを明らかにするために、サポシンB 部位にミュータントを導入した細胞株の作製を試みる。各オルガネラとサイトゾル分画中のCoQ10 含量やCoQ10 の酸化還元状態の解析も併せて検討したい。

13. 研究発表（平成 23 年度の研究成果）

※ 「13. 研究発表」欄及び「14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合は、左端を糊付けすること。

【雑誌論文】 計 (1) 件 うち査読付論文 計 (1) 件

著 者 名	論 文 標 題			
Ryo K, Ito A, Takatori R, Tai Y, Arikawa K, Seido T, Yamada T, Shinpo K, Tamaki Y, Fujii K, Yamamoto Y, Saito I	Effects of coenzyme Q10 on salivary secretion 669-674 (2011).			
雑 誌 名	査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の頁
Clin Biochem	有	44	2011	669-674
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)				
10.1016/j.clinbiochem.2011.03.029				

【学会発表】 計 (5) 件 うち招待講演 計 (1) 件

発 表 者 名	発 表 標 題	
Yorihiro Yamamoto	The role of CoQ10 binding and transfer protein	
学 会 等 名	発 表 年 月 日	発 表 場 所
5th Society for Free Radical Research (SFRR)-Asia Meeting (招待講演)	2011. 8. 31-9. 4	Kagoshima (鹿児島市民文化ホール)

発 表 者 名	発 表 標 題	
ジョン・チュンコン, 長嶋康平, 大泉美希子, 鈴木優, 森内寛, 加柴美里, 吉村真一, 山本順寛	コエンザイム Q 結合蛋白質プロサポシン発現量改変株の酸化ストレスに対する感受性	
学 会 等 名	発 表 年 月 日	発 表 場 所
日本コエンザイム Q 協会第 9 回研究会	2012. 1. 24	東京(東京工科大学)

発表者名	発表標 題		
宮内優樹, 関学, 宮前多佳子, 藤田秀次郎, 石田史彦, 森内寛, 加柴美里, 横田俊平, 山本順寛	母乳中のコエンザイムQ10とその結合タンパク質プロサポシン		
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所	
日本コエンザイムQ協会第9回研究会	2012. 1. 24	東京(東京工科大学)	

発表者名	発表標 題		
関学, 浅利真司, 長尾美好, 山本順寛, 吉村真一	ヒト・プロサポシン過剰発現マウスにおけるコエンザイムQとビタミンEの体内動態		
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所	
日本コエンザイムQ協会第9回研究会	2012. 1. 24	東京(東京工科大学)	

発表者名	発表標 題		
柿澤祐樹, 山崎好裕, 勇内山広 樹, 長谷川誠, 森内寛, 山本順寛	コエンザイムQ10結合タンパク質プロサポシンはビタミンEも結合する		
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所	
日本コエンザイムQ協会第9回研究会	2012. 1. 24	東京(東京工科大学)	

【図 書】 計 (0) 件

著 者 名	出 版 社		
	書 名	発 行 年	総ページ数
		□ □ □	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

【出 願】 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

【取 得】 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--